

11 改善指導案（本時の学習展開）

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導入	1 本時で学習するテーマを捉える。	「ありがとう」ってどんなときに言われたことがありますか。 ・ 友達の消しゴムを拾ったとき。 ・ 困っている友達を助けたとき。	○ 友達とのこれまでの経験を振り返らせ、教材の内容を自分事として捉えられるようにする。
展開	2 教材「ありがとうって言われたよ」を読んで考え、話し合う。	ゆうまくんに「ありがとう」と言われたときのぼくの気持ちを考えましょう。 ・ うれしいな。 ・ 入れてあげてよかったな。 1年生のかなさんのかさをすぼめて「ありがとう」と言われたときのぼくの気持ちを考えましょう。 ・ ありがとうを言われて気持ちがいいな。 ・ つぎもやってあげよう。 ・ <u>1年生のかなさんにもやさしくできてうれしいな。</u> 4年生のひろきくんに「ありがとう」と言われたときのぼくの気持ちを考えましょう。 ・ やさしくしてよかった。 ・ また、ありがとうを言われてうれしい。 ・ <u>4年生のひろきくんも助けてあげることができてうれしいな。</u>	○ 相手に親切な行動をしたことで、最初にお礼を言われた成功体験について考えさせる。 ○ T 1 と児童で役割演技をし、登場人物の心情に共感させる。 ○ T 2 は、「ぼく」の気持ちを中心に板書する。 ○ 役割演技をすることを通して、「ありがとう」と言われた「ぼく」の気持ちを考えさせるとともに、かなさんが「ありがとう」といった時の気持ちについて自分の言葉で具体的に表現させる。 ○ <u>下級生にも親切にすることができた「ぼく」の気持ちに気付かせる。</u> ○ ひろきくんのことを思って親切にした「ぼく」の気持ちを考えることを通して、相手のために親切にすると気持ちがよいことに気付かせる。 ○ <u>上級生のひろきくんにも親切にできた「ぼく」の気持ちに気付かせる。</u>

		家に帰っておかあさんと話している「ぼく」はどんな気持ちなのでしょうか。 ・みんなに優しくしてよかった。 ・また親切にしたいな。 ・たくさんありがとうを言われてうれしいな。 <u>みなさんは「ぼく」のように1年生のかなさんのように年下の子や4年生ひろきくんのように年上の人にも親切にできるかな。</u> 「ぼく」は「ありがとう」って言われたいから親切にしたのかな。	☆人に親切にすることで感謝されたことをうれしく思う「ぼく」の気持ちを考えることができたか。 (道徳ノート，発言) ○「<u>ぼく</u>」のように下級生や上級生でも声をかけて親切にすることができるのか問い，上級生や下級生に親切にすることには難しさがあるにも関わらず，親切にすることができた「<u>ぼく</u>」の気持ちに気付かせる。 ○見返りを求めるために親切にしたのではなく，相手の気持ちを考えて親切にした「<u>ぼく</u>」の気持ちに気付かせるとともに，親切にすることで相手も自分もいい気持ちになることに気付かせる。
終末	3 教師の説話を聞く。 4 本時の学習から，これからの自分に生かしていきたいことを考える。	みなさんも帰りの会の「きらきらさん紹介」で「ありがとう」のことが増えていますね。 今日の振り返りを書きましょう。 ・親切にすると自分も相手もうれしくなることが分かった。 ・相手のことを思って親切にしたい。 ・やさしくしてもらったり，助けてもらったりしたときは「ありがとう」を言おうと思う。	○日常生活の中での児童の親切な行動について取り上げ，これからも友達に親切にしようという態度を養う。 ○「<u>振り返りの視点</u>」を提示して一人一人道徳ノートで振り返りをさせる。 ○親切にしようとする意欲を高めるようにし，余韻をもって終わる。 (道徳ノート，発言)